



新年度のご挨拶

理事長

早川 明

社会福祉法人つるかわ学園
つるかわ学園を支える会
☎195-0051
東京都町田市真光寺町
186番地
TEL (042)735-2220
FAX (042)736-6374
HP:tsurukawa-gakuen.com

昨年の十一月NHK連続テレビ小説「エール」が終わりしました。主人公の古閑裕而は戦前戦後戦中にわたり五千曲もの作品を世に送り出したと言われています。私も「長崎の鐘、栄光は君に輝く」など好きな曲がいくつもあります。ところで昨年は歌謡界の輝く巨星が相次いで旅立ちました。

なかにし礼さんも暮れの十二月、八十二歳で亡くなったとの報道がありました。なかにし礼さんは「今日でお別れ、恋のハレルヤ、石狩挽歌」などの作詞家で、また直木賞受賞作家とありました。それゆえか私は興味を持ち近所の図書館にゆかり二冊ほど本を借りました。彼は「歌には多くの人の夢と祈りがあり、そこには歴史が刻まれている」「歌は言葉と言葉という翼にのって空を翔ぐ」と作詞家の心境を記しています。満州国牡丹江省（現中国黒竜江省）生まれのなかにし礼さんは、敗戦時の混乱で幾度も命の危機に陥ったみずから引き揚げ体験を「赤い月」で描いています。この引き揚げ者体験は彼の

精神思考の基盤となり、国家と個人を対比し、見詰め続けて異色の平和主義者ともいわれる礎になりました。そして大東亜戦争によるアジア人二千万日本人三百万の犠牲の上に日本国憲法があるので「強く憲法を守る」と訴え続けてきました。古閑裕而、なかにし礼氏他戦争の無意味さ、無責任さ、残虐さを体験した方々が旅立った後の不安を感じます。

お正月恒例の箱根駅伝は復路を観戦しつつ創価大学の初優勝かと確信したところ、なんと十区ゴール手前2キロで駒澤大学が首位に躍り出たの大逆転。十三年ぶりの古豪の復活優勝となりました。駒澤大学の大八木監督は雑誌文芸春秋の記事で、選手との接し方に悩んだ時もあったと述べています。昔の子は練習の中で叱っても、反骨心、なにくそ精神のようなものの中から力をつけて成長していく、でも今の子供たちは委縮して成長に結びつけ難い面がある。だから櫓を飛ばすのも一人一人の選手に合わせるようにして、と、

話しています。

ところで自分の子供の家庭教育方法は叱咤激励型でした。その子どもたちも独立し子を授かりました。私の目には子供たちの選んだ方法はどちらかと言えば「褒め称賛型」のように見えます。子どもは自身の受けた家庭教育型から学びつつ時代に合った方法を試みているのでしょうか。孫たちが美しい花を咲かせれば、どのような方法でも素晴らしいのでないかと、ゴールテープを切った選手の姿を見て思いました。

二月新型コロナウイルス感染症の切り札と期待されているワクチン接種が日本でもやっと始まりました。ファイザー製始め世界では六十以上のワクチン開発が進められているそうで、なんとなく希望が膨らみます。また一方ではワクチン外交と言う奇妙な新語が生まれる始末です。

国連グテレス事務総長は、世界のワクチン接種状況に言及し、途上国のワクチン接種の遅れは甚だしいと憂え、ワクチンは全人類の宝であるべきで、接種者数、民族、経済格差、国家格差で偏ることのないようにするものである。国際社会にとつての倫理上最大の試練と、強調しています。ワクチンを開発した企業には感謝すべきで、企業はそれ相応の利益を得る権利はあると思います。しかしながら強欲になりすぎて貧しい国の人々の命が奪われることのないようにと切に願います。

四月着任された新職員の方々は、焦らず、ゆっくりと現場に慣れて利用者支援に就いていただきたいと思えます。と同時に刻々と変わる世の中にも目を向け幅広い見識を持ち続けてほしいです。そのことが結果的に一人ひとりの平和な社会づくりに繋がっていくのではないのでしょうか。

二月早春の青空のもと飯守神社宮司さんがグループホーム「ラピス」新築現場で厳かに地鎮祭を執り行ってくれました。利用者の皆さんには秋には引越しをして頂く予定で、私も楽しみにしています。

各事業所より

法人事務局長兼成瀬寮事業所管理者

大矢 浩之

令和三年度も引き続き法人事務局長と成瀬寮事業所管理者を兼務することになりました。

本年度も新型コロナウイルス感染症に気を付けつつ、運営してまいります。宜しくお願いいたします。

三月に法人虐待防止・権利擁護内部研修としてチームアプローチについて「チームワークを高めよう」というテーマで実施しました。成瀬寮事業所では、新型コロナウイルス感染症対策でユニットごとの動画視聴研修となりましたが、支援は一人でおこなうのではなく、情報を共有し支援者によって変わらないアプローチをすることが大切ということを再確認しました。

昨年度は、町田通勤寮より五名の利用者さんがグループホームに入寮され、新しい生活が始まりましたが、自立した地域生活を送れるように、本人の「できること」を尊重しながら、状況や環境に合わせたさまざまな支援を行っています。

つるかわ学園

施設長 月岡 亮

昨年度は「新型コロナウイルス」により皆が大変厳しい先の見通せない不安な一年であったと思います。そのような状況ではありますが、多くの方々の支えにより無事に新しい年度を迎えることが出来ました。

さて、年が明け半年近くたちますが、二〇二〇年の世相を漢字ひと文字で表す「今年の漢字」に「密」の文字が選ばれました。感染拡大で「三密」という言葉が使われ、多くの人々が常に「密」を意識した行動をとったことや急激にオンライン化が進み、離れていても大切な人との関係が「密」接になったこと等が選ばれた理由だそうです。

どこへ行っても「三密」「自粛」…と良いイメージはありませんが、「密」には、関係が深いこと、きめ細かいことや親しみという意味が含まれております。コロナ禍で施設として非常に厳しい状況が続いておりますが、ご家族や近隣住民等、多くの関係者の方々からの心温まるご支援、応援に心から感謝したいです。人は日常生活の中で常に安心を求めます。誰もが安心した生活ができるよう、そしてマスクが生活の一部となっておりませんが、マスクをしていても笑顔を感じさせる、安心感を

与える支援、そしてこのような状況下だからこそ密にはなれませんが、心は密に寄り添った支援を心掛けたいです。



町田通勤寮

寮長 三階 広明

「新型コロナウイルス」感染拡大防止で終始した昨年度でしたが、新年度も引き続き対策が求められています。対策に万全を期した事業運営を進めていきたいと思えます。

昨年度は、利用者さんが楽しみにしていた「宿泊研修」や「スピーチフォーラム」等も中止になり、通勤寮として「出かける」取り組みが無くなってしまい、「楽しみがなくなつた」、「ストレスがたまる」等の声が多く聞かれました。新年度に実施できるかはまだ見通せない状況ですが、生活のアクセントとして「楽しいこと」も企画していけたらと思っています。

「不要不急」の判断はむずかしいですが、利用者さんの判断の手助けになるような支援ができればと思っ

ています。

三月には新たな利用者さんが九名入りました。「新型コロナウイルス」に負けずに「新たな生活」に早く慣れるよう支援していきたいと思えます。

町田市障がい者就労・生活支援センター リンク 支援センター ソラール

管理者 藤本 英理子

春の陽気と共に、新年度がスタートしました。職員一同、気持ちを新たに良いサービスの提供、支援をしていきたいと思えます。

昨年度は四月の新型コロナウイルス感染防止対策としての緊急事態宣言の発令から始まり、再度の緊急事態宣言とその延長と本当に大変な一年でした。

障がいのある方の就労支援に携わる中では、就職先の確保の難しさ、継続して働き続けるための余暇のバランスのとりに難さなど、支援をどのように進めていくべきかを考えさせられました。

ソラールでは、在宅での訓練等にも取り組みましたが、利用して頂いている皆さんのニーズは「通所」し訓練に臨むことでしたし、職員の側も皆さんと一緒に過ごすことで「やりがい」を感じていたこ

とから、新年度は「新しい生活様式」に合わせながら「通所」利用をして頂き、就労や様々な社会資源に「つながる」ことを目指していきたいと思えます。

リンクでは、「オンライン」での就職活動、定着支援への対応を依頼されることが多く、ニーズに添えていきたい部分ではありますが、登録者の方全員が設備をお持ちでないこともあり、直接でなければ分からないことも多く感じます。

設備を整えるだけではサポート仕切れない部分をどのようにしていけばよいか、「新しい生活様式」と共に、支援の形態を変えることを目指す必要があるように思えます。

どのような社会情勢の中でも障がいのある方の生活を豊かで充実したものになるよう、支援の工夫をしていきたいと思えます。



つるかわ学園
相談支援センター

管理者 芹澤 政人

令和三年度障害福祉サービス等報酬改定における相談支援の内容としては【質の高い相談支援を提供するための報酬体系の見直し】となり大きく三つ掲げられております。

①基本報酬の充実（単位数の引き上げと加算の組み込み）

②従来評価されていなかった相談支援業務の新たな評価（計画決定月・モニタリング対象月以外の業務（例としてモニタリング対象月以外に二回以上の面接、会議開催等）

③事務負担軽減及びモニタリング頻度の設定について（例として、事務負担軽減の為、加算の要件となる業務の挙証書類については、サービス等利用計画等に記載・保管すること可等）

利用者の方の適切な指針を立てる為、状況に応じて会議を適宜開催することや面接等を通して、ニーズの整理等を行うことが多々ありました。今回の報酬改定はそういった集中支援加算の新設等が挙げられます。また、質の高い相談支援を提供していく為、今年度も継続して関係機関との連携強化に取り組みたいと考えております。

ドリーム

管理者 外川 珠枝

早川理事長のご挨拶にもありました通り、梅の花が満開の頃、グループホーム「ラピス」の地鎮祭が執り行われました。

法人の中期経営計画に沿って、グループホームの新規開設に向けての定員、物件の検討。開設に向けての検討・計画策定、そして、実施の検討をさせていただきました。

二〇一九年につるかわ学園の隣地で、飯守神社前の土地を法人が購入し、開設に向けての準備を進めてきました。つるかわ学園と共同のプロジェクトチームを結成し、どのようなグループホームにするか、利用者の高齢化対応は：間取りは：設備は：各要件は：等々、利用者が安全、安心して生活できる場として検討してきました。

二〇二〇年八月には、東京都の補助決定内示を受け、一二月に工事業者の入札、二〇二二年二月工事着手、十月の開設を目指し着々と進んでいきます。

木造 地上二階
敷地面積 約三百七十㎡
建築面積 約百四十九㎡
延床面積 約二百八十一㎡

グループホーム
「ラピス」の由来

「ラピス・ラズリ」、和名では「瑠璃」という世界で最初に認められたパワーストーンです。聖なる石で、幸運の象徴、問題を乗り越え、人の心の成長を促し、あらゆる幸運を引き寄せるパワーがあるとされているという事から、利用者皆さんの生活が豊かに、穏やかに過ごしていけるようにという願いを込めて名称とさせていただきます。



新人職員紹介

四月より入職しました松江若南まつえわかみなです。趣味はサッカー観戦と音楽鑑賞です。

私は保育士を目指し、和泉短期大学に入学しました。小さい頃から保育士になることが夢で、子どもと関わる仕事に就きたいと思っていました。ですが、つるかわ学園での実習を通して障害者支援という職業に興味湧き、この仕事に就きたいと思うようになりました。

つるかわ学園で実習を行う前に保育園での実習を終えていたのですが、自分が想像していたよりも厳しい世界で実習へ行くことが嫌になっていました。保育士という職業の厳しさも知り、夢を諦めかけてしまいました。

つるかわ学園での実習が始まると、利用者さんはいつも明るく積極的に話し掛けてくださり、何事にも楽しそうに過ごしている姿が印象的でした。職員の皆様も優しく、利用者さんと楽しくお話していても雰囲気の良い職場だと感じました。

実習は二週間という短い期間でしたが、そのなかで自分が支援したことで利用者さんが喜んでくれたことがとても嬉しく、やりがい

を強く感じました。実習に入る前は利用者さんに対しての恐怖心は全くなかったのですが、実習自体に不安があり、ここまで楽しいと感じられる実習になると思っていた

なかつたです。実習が終わってもボランティアなどで学園に携われるということを知り、五月からアルバイトとして働き始めました。実習生ではなくアルバイトとして支援をすると、実習では経験できなかったことも多く、初めてのことがばかりで驚くこともありましたが、大変なこともありますが、それ以上に利用者さんの笑顔や喜んでいる姿を見ることが嬉しく、自分ももっと良い支援ができるように頑張ろうと思うことができました。

今後は、つるかわ学園の一職員としての自覚を持ち、より良い支援ができるように努めていきたいです。そして、資格取得へ向け勉強し、障害についての知識も身に付けていきたいです。

精一杯頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

武田 拓樹



寄贈の御礼

「つるかわ学園 ハイエース納車」
ありがとうございます

東京都共同募金会様
つるかわ学園 事務員
武田 拓樹

この度「十人乗りハイエース」を、東京都共同募金会様の配分金により購入いたしました。

利用者さんの障害特性や高齢化に伴い、日中活動場への送迎、買物・余暇支援や、通院時の負担軽減、夜間の緊急時対応等、様々な場面で活躍が期待されます。

なお、共同募金会へ寄せられた寄付金はこのように活用されております。この度の配分金受配にあたり、多くの皆様から寄せられたご厚意に感謝し、大切に使用させて頂きます。誠にありがとうございます。



つるかわ学園
ホームページ
日常のようす、行事のお知らせ等がご覧いただけます
アドレスはこちら!!
HP: tsurukawa-gakuen.com



つるかわ学園を支える会のご案内

「支える会」について

国家的財政困難と世情不安定の中にあつて、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦しさの中にあつても福祉を支える者として努力を惜しまず頑張っています。今一步の力の支えをこつとした形で求めるのは本当に心苦しいのですが、市民の皆様の小さな善意はやがて大きな力を生む礎となる事をお約束します。

会費

「つるかわ学園を支える会」の会費は、一口年額三千元ですが、ひとりで何口か入っていただくことを歓迎、お願ひしております。

会員の方々には、毎年三回発行するつるかわ学園の機関誌「つるかわ」をお送りし、学園の様子を続けてご報告するとともに、この人達の幸せを願う者同志としての親交を深めます。

入会方法

入会してくださる方は、振込用紙を学園にご請求下さい。

振替口座番号

〇〇一〇一七七一一九四〇二九
加入者
社会福祉法人 つるかわ学園